

悩める人に寄り添い 出口を探す手助けを していきたい

大阪彩都心理センター

代表取締役 竹田 伸子様



事業内容について教えてください

個人や家族、あるいは職場での心の悩みについてカウンセリングを行っています。相談内容は、幼稚園でお友達とうまく遊べないといったお子様の発達相談、ご自身のお悩みに関するカウンセリング、従業員のメンタルヘルスに関する組織コンサルテーションなど、臨床心理士として、人と企業のメンタルヘルスケアに従事しています。

企業のメンタルヘルス対策について

快適な職場で健康的に仕事をしたいと誰もが願います。けれど、コミュニケーションがうまく取れないなど、職場での不安やストレスから心身に不調を来し、休職や離職に至るケースは増加しており、メンタルヘルスにまつわる問題を抱える組織は、決して珍しくありません。原因として、効率主義・個人成果主義への社会の変化、個人の精神的余裕のなさ、職場での仲間意識の希薄化から、職場で孤立する人を生んでしまう事などにあると言われています。この問題は、不調を来した個人の問題としてではなく、『その組織全体として考える問題』と捉えていく必要があります。

職場のコミュニケーション力を高め、支えあう風土を作っていく。『職場では誰一人として欠けてはいけない』。新人であれベテランであれ、自分が企業にとって必要な人材で、かけがえのない存在である、という意識を、今は見失いやすい時代です。だからこそ、一人一人が常に自覚できる様、個人も企業も風土を作っていく必要があります。その結果、一つの集団としての結束力が強化され、円滑な業務推進に反映されていきます。メンタルヘルス対策のシステムを構築していく事は、企業の発展に繋がっていくことになるという点で、現在多くの企業で重要視されています。



今後の目標について教えてください

日本では今、年間自殺者数が13年連続で3万人を越えています。行政や専門家だけの対応では自殺者数の増加を止める事ができないのが現状です。そこで今求められているのが「ゲートキーパー」の育成です。ゲートキーパーとは、地域や職場において、自殺のサインに気付いて手助けをし専門相談機関へ繋ぐ役割を担う人の事です。身近な人達が、悩みを持つ人のSOSを察知し、手を差し伸べ、自殺を未然に防いでいく。『自分達にも手助けできる事がある』という意識を、多くの人達に感じてもらい、手を差し伸べ合う社会になるよう、ゲートキーパーの育成に力を入れていきたいと思えます。



会報読者の方に一言

企業は、従業員が気持ち良く働いて力を発揮してもらえるよう、精神面で健康な職場環境づくりが求められています。メンタルヘルス対策のシステム構築の為に、企業の特徴に合わせたご提案を致します。

また弊社では、相談に行きたくても行けない人・時間の都合がなかなか作れない人など、様々なケースにも対応しております。平日18時以降の対応、土・日の対応なども致します。お一人で悩みを抱えておられる方は、一緒に出口を探していきたいと思えますので、お気軽にご相談ください。

Present

大阪彩都心理センター様より、「メンタルヘルス出張講座」を1事業所様にプレゼント!!



〒567-0046
茨木市南春日丘七丁目
1-34-102

● 休業日 木曜日

Tel 072-625-7940

HP <http://www.saitokodomo.com/>